

(17) 学校ボランティア支援室**① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

学校ボランティア支援室は、就業力を有する「活力ある学生」を育成するため、学校教育学部に開設する授業科目「ボランティア体験」、「学校ボランティアA（学校支援体験）」及び「学校ボランティアB（学校支援体験）」（以下「ボランティア科目」という。）を履修する学生及びボランティア科目を担当する教員を支援すること並びに教育ボランティア及びその他のボランティアを支援することを目的に、平成23年4月に設置された。

イ 組織の構成及び構成員等

室長及び室員で組織する学校ボランティア支援室は、室長を学長が指名する室員、室員を授業科目担当教員、学長が指名する教員、附属小学校副校長、ボランティアコーディネーター及び教育支援課長等で組織し、室長が指名する室員を次長とし、平成28年度は13人で構成した。

② 運営・活動の状況**ア 委員会等の開催状況**

平成28年度より、教務委員会ボランティア運営部会が廃止され、学校ボランティアに関する業務はボランティア支援室において集約し運営することとなり、学校ボランティア支援室会議として以下のとおり7回開催した。

- ・ 第1回 平成28年4月14日（木）
- ・ 第2回 平成28年5月2日（木）書面審議
- ・ 第3回 平成28年9月21日（水）
- ・ 第4回 平成29年1月16日（月）
- ・ 第5回 平成29年2月14日（火）書面審議
- ・ 第6回 平成29年2月16日（木）書面審議
- ・ 第7回 平成29年3月9日（木）

イ 審議された主な事項

平成28年度の主な審議事項は、「ボランティア体験」、「学校ボランティアA（学校支援体験）」及び「学校ボランティアB（学校支援体験）」に係る平成28年度実施計画並びにそれら授業の履修状況、第3期年次計画における学校ボランティア等の活動の体系化や参加学生への支援体制についてである。

ウ 重点的に取組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

学生の被災地ボランティア団体である ABJ（Action By JUEN）による東日本大震災被災地ボランティアバスツアーの催行を例年どおり支援した。また平成28年4月に発生した熊本地震に対する募金活動や、12月に発生した糸魚川市駅北大火に伴う募金活動や被災児童に対する勉強会への参加などについて支援した。

③ 優れた点及び今後の課題等

学校ボランティアに関する業務は、学校ボランティア支援室に集約された。新たに、学校ボランティア支援室の設置要項の一部を改正し、「教育ボランティア」に関する業務についても明記し、平成29年度からは「学生教育研究災害傷害保険」及び「同付帯賠償責任保険」の適用範囲となることを確認した。今後、

このことを広くPRしていき，学生の教育ボランティア実施率向上の一助となることが望まれる。